


## 指定管理者の管理運営に関する評価シート (評価対象期間：令和5年4月～令和6年3月)

施設名	久喜市立つばめクラブ他17クラブ	
施設所管課	こども育成課	
指定管理者(団体名)	一般社団法人 久喜市学童保育運営協議会	
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日	

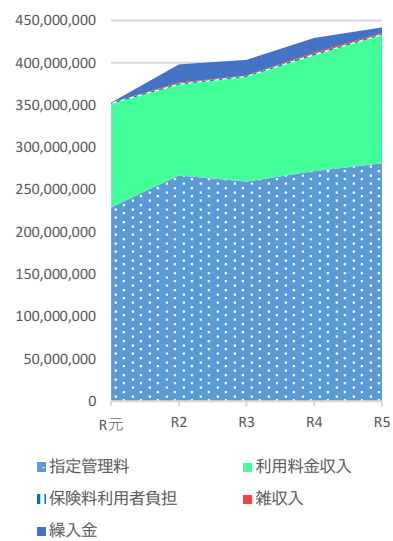
1 事業運営、利用状況				
指定管理者の行う事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・放課後児童健全育成事業の実施</li> <li>・入室の承認及び承認の取消しに関する事</li> <li>・保育料の徴収に関する事</li> <li>・施設及び設備の維持管理に関する事</li> </ul>			
事業計画に掲げた 主な事業の実施状況	<input checked="" type="checkbox"/> 事業計画に掲げた事業は全て実施した			
	<input type="checkbox"/> 事業計画に掲げた事業のうち、一部が実施できなかった			
	理由			
	主な実施事業、事業内容及び参加状況			
		事業名	参加者数	
		レクゲーム（お楽しみ会）、誕生日会	20,086人	
		本の読み聞かせ	3,576人	
	昼食（ケーキ）提供	5,568人		
	研修会参加	416人		
施設の利用状況		令和5年度	令和4年度	増減
	開館日数（日）	290	290	0
	利用者数（人）	253,208	228,164	25,044
補足説明				

## 2 収支状況

### (1) 収入状況(直近5カ年の決算)

単位：円

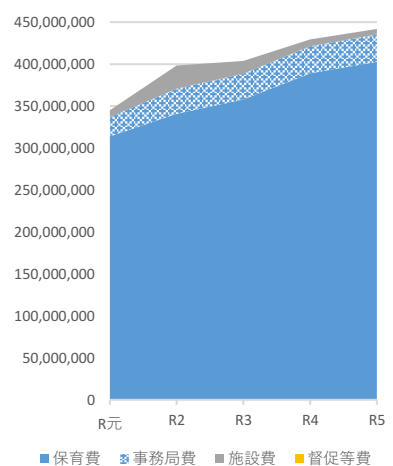
項目	R元	R2	R3	R4	R5
指定管理料	229,079,715	267,066,706	259,824,154	271,968,700	281,296,800
利用料金収入	122,524,900	107,302,600	123,668,368	137,138,700	151,499,400
保険料利用者負担	1,356,800	1,219,200	1,252,000	1,295,200	1,399,200
雑収入	119,854	1,146,810	433,687	1,880,264	1,230,241
繰入金	0	21,600,000	18,500,000	17,200,000	6,500,000
収入合計	353,081,269	398,335,316	403,678,209	429,482,864	441,925,641
補足説明	令和5年度久喜市放課後児童クラブ物価高騰対策給付金は、「雑収入」欄にて、1,142,000円計上。				



### (2) 支出状況(直近5カ年の決算)

単位：円

項目	R元	R2	R3	R4	R5
保育費	313,922,532	340,718,090	357,885,834	389,090,737	402,645,573
事務局費	22,854,872	29,901,720	30,796,160	32,175,904	32,451,110
施設費	8,100,861	27,661,107	14,926,396	8,024,644	6,733,164
督促等費	1,918	0	840	3,360	9,240
支出合計	344,880,183	398,280,917	403,609,230	429,294,645	441,839,087
補足説明					



収支差額	8,201,086	54,399	68,979	188,219	86,554
------	-----------	--------	--------	---------	--------

### 3 管理運営

	<p>開館時間</p> <p>月～金曜日：放課後～午後7時15分 土曜日：午前7時30分～午後6時30分 学校休業日：午前7時30分～午後7時15分</p>	<p>休館日</p>	<p>①日曜日、祝日 ②8月13日～8月16日 ③12月29日～1月3日</p>
<p>施設の運営業務</p>	<p>管理体制</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「久喜市学童保育運営協議会が目指す放課後児童の生活の場」を掲げ、放課後児童の生活リズムを守ることを基本方針とし、「こどもの生活を保障すること。（安心・安全感のある居場所）」、「こどもの生活を支援すること。（こどもの生活を守る、遊びのある場）」、「保護者・学校との連携を図ること。（保護者、学校との連携）」などを具体的に実践する中で、居心地の良い場所となるよう努めた。</li> <li>・支援員62名 補助員84名 【支援員・補助員体制】（1クラブあたり） 平日：支援員2人、補助員1～3人体制 土曜日：支援員1人、補助員1～2人体制</li> </ul>	<p>職員研修</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「職員の資質の向上と保育活動の質の充実と平準化を図ること」を目的として立ち上げた【研修委員会】による新任者研修をはじめ、「遊びのある居場所」作りを充実させるため、児童に提供したい工作等の実技研修を行った。また、グループトークとして「高学年を含めた生活づくり」「一日保育時の流れの工夫」等の内容で職員同士での話し合いの場を設け、実践に役立てた。その他、実践研修としては厚労省配信の動画を見ながら、エピペン（医師の治療を受けるまでの間、アナフィラキシー症状の進行を一時的に緩和し、ショックを防ぐための補助治療剤）を外部より借用して使い方を全職員が学んだ。</li> <li>・協議会主催の研修会としては、久喜市学校給食センター視察研修を行い、食物アレルギーへの対応・取組みについて学び、久喜市の学校給食について理解を深めた。また、「放課後児童支援員の仕事とは～保護者支援及び職員集団のコミュニケーション～」の内容で外部の指導者による研修会を開催し、支援員の仕事について再確認し、保護者との関わり方等を学んだ。</li> <li>・リモート研修による埼玉県及び埼玉県学童保育連絡協議会等主催の研修に多くの者が参加し、支援員としての資質の向上が図られた。</li> </ul>	
<p>施設の維持管理業務</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症防止対策として、保育室内外の安全管理及び衛生管理を徹底した。特に児童の手が触れる物等はこまめに消毒を行い、保育室の清潔な環境を維持するとともに、保育室内外の備品等を定期的に点検・確認することにより、安全な遊びの場の確保に努めた。</li> </ul>		

指定管理者の提案による新規取組みとその実施状況	企画提案内容	
	<p>[補足]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の満足度を高めることを目的に、業務の改善、効率化等について調査・研究を行うとともに、今後少子化の影響から利用者の減少が見込まれる中で、将来に向けた放課後児童クラブの新たな事業展開を研究するため、サービス向上委員会を設置した。</li> <li>・各クラブと事務局間でネットワークシステム（NASシステム）を導入し、業務体制の効率化を図った。</li> </ul>	
	企画提案内容の実施状況	
	<p>[補足]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て等で悩んでいる保護者を少しでも支援できればと考え、保育相談会を実施した。</li> <li>・保護者からの要望等を伺う手段の一つである共催保護者会について、新型コロナウイルス感染症で一時中止したこともあり、保護者の参加が少ないため、改めて内容を検討した。</li> <li>・TSメール（一斉メール配信サービス）の導入で諸連絡について、保護者への情報伝達を迅速かつ確実なものとした。また、TSメールを利用して事務局より保護者向けアンケートを実施し、保護者のご意見を伺った。</li> </ul>	
	<input type="checkbox"/>	企画提案内容が予定通り実施されている
	<input checked="" type="checkbox"/>	随意指定のため企画提案はない
	<input type="checkbox"/>	企画提案内容が予定通り実施されていない
理由		
利用者満足度向上への取組み	今後実施予定の企画提案内容	
	<p>[補足]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員会議、またはオンライン会議の実施</li> <li>・サービス向上委員会によるサービス向上のための業務の検討</li> <li>・職員配置の充実化、応援勤務体制と職員の育成支援</li> <li>・保育相談会の実施</li> <li>・夏季休業中児童の弁当の手配（週1回程度）</li> <li>・クラブ内の環境整備（クラブ室内照明具のLED化、空調設備の定期的な清掃作業、老朽化した箇所の修繕）</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・普段から保護者が児童の相談をしたいと思っても、通常のお迎え時では時間も取れず、他の保護者がいると込み入った相談も出来ない状況であったことから、初めての試みとして保育相談会を実施した。クラブでの児童の生活の様子や友達関係等話すことが出来た。支援員が経験を重ねる中で得た保育観を話すことで、保護者の悩みも少しは解消されたようであった。相談業務を通じて保護者との信頼関係を深めることができた。</li> <li>・年3回開催したうちの最後の共催保護者会において、児童の様子を伝えるのはもちろんのこと、児童の工作作品の展示、流行っている遊びや遊具の紹介、行事で撮った写真等を掲示した。また、簡単な工作作りをその場で行ったり、その日提供したおやつを試食していただき和やかな雰囲気に参加者も増えた。</li> <li>・保護者向けアンケートを実施した。内容は開所時間、利用料、施設、児童のクラブでの過ごし方、支援員等について伺い、約80%の保護者が満足しているという回答であった。</li> </ul>	

#### 4 その他

<p>情報提供・広報活動に関する取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新年度（4月入所）の入所の募集について、保育課を通して市の広報・ホームページの掲載などを実施し、協議会ホームページでは利用申請書等についてダウンロードを可能とし、直接パソコンで入力できる環境を整えた。</li> <li>・保護者に対し、放課後児童クラブのしおりや資料を配布するなど情報提供に努めた。</li> <li>・協議会のホームページで協議会だより、各クラブだよりを発信することでペーパーレス化を進め、利用者等への利便性の向上に努めた。</li> <li>・TSメール（一斉メール配信サービス）の導入により、諸連絡について、保護者への情報伝達を迅速かつ確実なものとした。</li> </ul>		
<p>個人情報保護に関する取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・管理運営業務上取り扱う個人情報については、一般社団法人久喜市学童保育運営協議会個人情報保護規程並びに久喜市個人情報取扱事務の外部委託及び指定管理に係る個人情報保護基準に従い遵守している。</li> <li>・基本方針に基づき個人情報の適正な取り扱いを行うため、職員会議において、支援員、補助員、事務局職員が個人情報保護の重要さを認識し、情報を適正に管理し、その情報の共有化を図るとともに、職員の守秘義務の徹底に努めた。</li> <li>・情報セキュリティ管理委員会を設置すると共に、情報セキュリティポリシーの周知に努めた。</li> </ul>		
<p>危機管理に関する取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消防署と連携し、クラブ毎に年1回の避難訓練を実施したほか、単独で1回、通報訓練を実施し、児童の安全対策に努めた。</li> <li>・風水害時の避難訓練について、マニュアルに従い避難経路を確認し、児童の安全対策に努めた。</li> <li>・久喜市ハザードマップを基に施設の立地条件を確認し、クラブ毎に令和5年度非常災害対策計画を作成し、災害に備えた。</li> <li>・年2回防犯訓練を実施し、児童の安全対策に努めた。</li> <li>・防火管理者講習を支援員に受講させた。</li> <li>・支援員、補助員、事務局職員等の緊急連絡網を作成し、緊急時等の速やかな対応に備えた。</li> <li>・業務継続計画を作成し、危機管理に関する取組みの強化を図った。</li> <li>・安全計画を策定した。危機管理に関するマニュアルを見直し、分かりやすく、迅速に対応できるよう改正し、安全計画の中に盛り込んだ。</li> </ul>		
<p>市の監査状況</p>	<p>実施日</p>	<p>実施場所</p>	<p>監査結果</p>
	<p>令和6年3月19日</p>	<p>保育課</p>	<p>指導事項 特になし</p>

## 5 総合評価

施設所管課の 一次評価	A□	事業計画等で掲げた水準等を上回り、かつ前年度実績を超える成果を達成し、優れた管理運営がなされている
	B■	事業計画等で定める業務が履行され、管理運営が適切になされている
	C□	事業計画等で定める水準等を一部が下回り、努力が必要である
	D□	管理運営が適切に行われたとは認められず、改善を要する

### 施設所管課の判断理由

事業運営、利用状況については、事業計画に掲げた事業は全て実施し、参加者数が増加していることなどから児童の健全育成に寄与した。  
 収支状況については、施設費を削減するなど、限られた予算の範囲内で効率的に事業運営を行っている。  
 管理運営状況については、エピペンを用いた実践研修、久喜市学校給食センター視察研修を行うなど関係機関と連携し、支援員の資質向上に努めている。  
 随意指定であるが、児童や保護者に寄り添った企画提案を行うなど、利用者満足度向上の取組みが実施されていることなどから、B評価とした。

公の施設管理運営 検討委員会の 二次評価	A□	事業計画等で掲げた水準等を上回り、かつ前年度実績を超える成果を達成し、優れた管理運営がなされている
	B■	事業計画等で定める業務が履行され、管理運営が適切になされている
	C□	事業計画等で定める水準等を一部が下回り、努力が必要である
	D□	管理運営が適切に行われたとは認められず、改善を要する

### 公の施設管理運営検討委員会の意見

- ・初の取組みとして実施した保育相談会を通じ、クラブでの児童の生活の様子や友だち関係等を保護者に理解してもらうことで、信頼関係を深め、保護者の悩みの軽減に寄与したことを評価する。
- ・利用者数が増加したことに合わせて管理体制を強化し、支援員・補助員の確保や資質の向上に努めている。また、利用者や保護者からより高い満足度が得られるよう工夫を凝らした行事や事業の運営がなされている。
- ・督促等費（督促状の郵送料等）が増加している。利用料金は運営のための大切な財源の一つであることから、収納率100%を目指してもらいたい。